

既存の公共交通の最大限の活用について

板橋区 都市整備部 都市計画課

1 公共交通の利活用の取組み

(1) 東武東上線 6 駅での 駅の交通案内 + デジタル連携マップ (令和4年9月~)

前回お知らせした「駅の交通案内+デジタル連携マップ」を6駅に拡大しました。

(東武練馬、上板橋、ときわ台、中板橋、大山、下板橋)

区内各駅から路線バスでお出かけできる駅

Twitter Facebook LINE

ページ番号1016261

印刷 大きな文字で印刷

区内各駅から路線バスでお出かけできる駅

区内各駅から路線バスでお出かけできる駅をご案内します。

電車では遠回りをしなければならない駅も、路線バスが便利に結んでいます。また、駅前だけでなく、少し歩いた先にあるバス停からも、さまざまな行先のバスが運行されています。

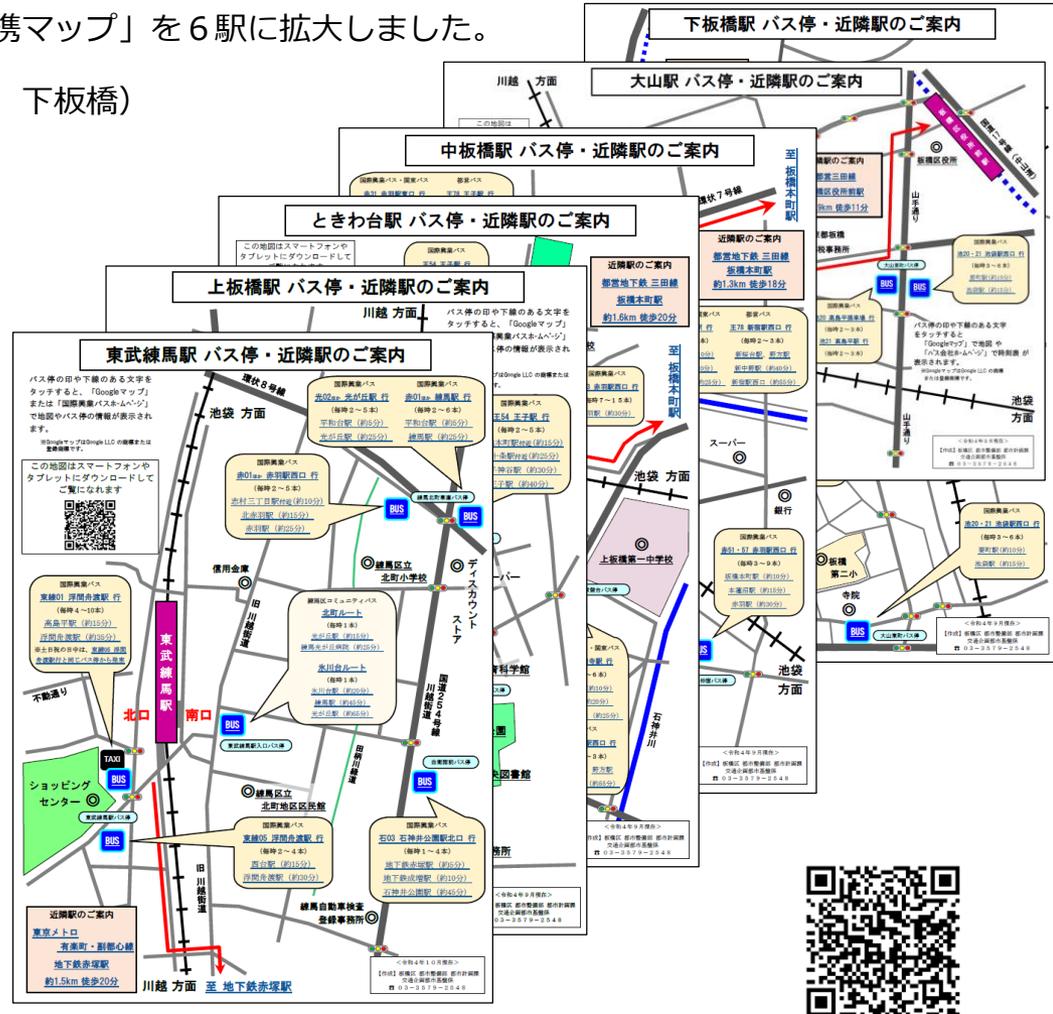
身近な交通機関として、バスの魅力を再発見してみませんか。

東武東上線

東武東上線各駅から路線バスでお出かけできる駅をご案内します。

東武練馬駅から下板橋駅の各駅については、スマートフォンやタブレットで活用できるデジタル連携マップの掲載を開始しました。

- 東武東上線 成増駅・東京メトロ有楽町・副都心線 地下鉄成増駅
- 東武東上線 下赤塚駅・東京メトロ有楽町・副都心線 地下鉄赤塚駅
- 東武東上線 東武練馬駅
- 東武東上線 上板橋駅
- 東武東上線 ときわ台駅
- 東武東上線 中板橋駅
- 東武東上線 大山駅
- 東武東上線 下板橋駅



左のページは、上記の二次元バーコードから表示できます。

1 公共交通の利活用の取組み

(2) 電車やバスの利用のきっかけを作る取組み

① 令和4年度中

1月下旬ごろから期間限定で、区の公式SNSにおいて、区内の素敵な場所を紹介する投稿配信を実施予定としています。

最寄りの駅やバス停などを合わせて掲載し、電車やバスの利用意識を高める試みとして取り組むとともに、前回ご紹介しました観光ガイドマップの配布も行います。

② 令和5年度以降

気候が良く外出しやすい時期に、交通事業者と連携するなど、近隣のお出かけ先の紹介を行う取組みのほか、東京都の「地域を主体とするスマート東京先進事例創出事業」の支援プロジェクト実施に合わせて、電車やバスの利用にもつなげていきます。

東京都 | SMART TOKYO 地域主体
☰

地域を主体とする
スマート東京先進事例創出事業

東京都は、デジタルの力で東京のポテンシャルを引き出し、サービスの質・QOSを向上させることで、都民が質の高い生活を送ることができる東京版Society 5.0である「スマート東京」の実現を目指しています。

その様々な取組の一つとして、「地域を主体とするスマート東京先進事例創出事業」を採択し、地域課題解決や住民ニーズの充足といったまちのスマート化に関する取組を推進し、都内全域でのまちのスマート化の展開につなげていきます。

【参考】

令和4年8月、東京都の「地域を主体とするスマート東京先進事例創出事業」の支援プロジェクトの1つとして、次のとおり、高島平地域のプロジェクトが選定されました。

プロジェクト名

外出したくなる・移動しやすい安全なまちづくり ～回遊の分析・向上実装プロジェクトin高島平～

事業主体：スマート高島平プロジェクト協議会（仮称）

高島平
(板橋区)

目的

「多くの人を惹きつけ、時を過ごし、住みたい、働きたいまち」、「暮らし続けるまち」づくり

- ・板橋区の人口増加に対し、老朽化した施設や衰退した商店街などを抱える高島平地域では人口が減少していることから、住民の利便性向上や地域の魅力・活力を高め、来訪者や新たな居住者の流入を促す。
- ・災害時の混乱を最小限に抑え、住民の防災意識を高める。

概要

街の魅力や利便性の創出

- **センサー（Wifiやカメラ）を用いた人流計測及び分析**
 - ▶ 行動特性を把握し、外出したくなる・移動しやすいまちづくりにつなげる
- **デジタル技術（AR/MR）等を活用した地域周遊型まちづくりイベントを実施**

若い世代にも訴求できるコンテンツを提供、商業集積エリアに新コンテンツ配置

 - ▶ 誘客・地域内回遊による賑わいの創出と魅力発信
- **移動利便性向上に向けたモビリティの導入**

主に居住地と地下鉄駅（三田線）や主要な施設を結ぶ便利な電動マイクロモビリティを検討・実装

 - ▶ 日常移動の負担軽減、居住者の日常的な移動の利便性向上

新たなモビリティの例



未来型パーソナルモビリティ
出典：(株)Luup

地域の災害に対する備え

- **災害情報や生活情報を発信する地域SNSの導入**
 - ▶ 発災時の避難情報を発信、日常生活における行動変容促進



SNSによる情報提供が促す行動変容のイメージ
- **人流データを活用した避難経路を明示するツール構築**
 - ▶ 発災時に適切な避難を誘導
- **3D都市モデル等を活用した避難シミュレーションの実施**
 - ▶ 住民に様々なシチュエーションで水害が発生した状況を体感してもらい、防災意識を向上させる



【浸水エリアを見た場合】
浸水した時の状況・避難ビルが表示
可視化ツールにおける表現イメージ

デジタル技術を活用して生活利便性の向上や賑わい、地域の強靱性向上を実現する

※支援期間：交付決定の日から令和7年3月31日まで

本プロジェクトでは、デジタル技術を活用した地域周遊型イベントを軸に、移動の利便性向上の取組みを実施しつつ、人流の計測・分析などを行っていきます。地域外からの誘客や地域内回遊において、電車やバスの移動を取り込みながら、公共交通機関と次世代モビリティの上手なミキシング・ブレンドについても考えていきます。

※東京都デジタルサービス局ホームページより

3

2 住宅地におけるタクシー乗場（社会実験）について

【今後の予定（案）】

令和4年度中

- 周知PRチラシの再配布

令和5年度

- 乗場の利用状況調査
- 地域住民アンケート
 - ・ 日常の外出について
 - 外出の目的、交通手段
 - 頻度、身体状況
 - ・ 最寄り駅と所要時間
 - ・ タクシー乗場の利用経験
- 近くで営業するタクシー乗務員のヒアリング

などを実施し、社会実験の検証を行います。

